



— 紀元祭での尺八奉納演奏 —

平成 25 年 2 月 11 日

阿蘇神社 <http://asojinja.jp/>

報 社  
あそみや

平成 25 年 3 月 15 日

第 56 号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋 862

☎ 0957-43-5235

親父の小言

阿蘇神社

宮司 大島 大明

昨年「親父の小言」を記した縁の案内がありました。「親父の小言」は福島県浪江町の大聖寺の庫裡に掲げられた四十五の文章で、当時の住職(青田暁仙)が昭和三年に書いたとされます。為書には「親父生前中の小言を思い出して書きました。今にして考えればなるほどと思うことばかりです」の一文があり、親から言われ続けた小言を思い出しながら書いたようです。俗に「親の小言と冷酒は後で効く」

とも言われますが、近年では小言を言う親父は少なく、貴重な存在になってきたようです。

大聖寺の現住職によると、最近では新たに語句が加わったり、削られたりして、元々の「親父の小言」とは異なったものが広く流布しているそうです。末頁に大聖寺の原文を掲載しますので一読してみてください。自らを省みれば、思い当たることもあるのでは。親父各位の参考になれば幸甚です。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

一、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、

一、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

一、国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

# 恒例 節分祭恙なく終了!!

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日に斎行されました。風もなく穏やかな天候での節分を迎えました。午後五時本殿で「節分祭」の祭事が斎行されました。宮司が氏子崇敬者の一年間開運招福を祈る祝詞を奏上、神社総代が玉串を捧げて拝礼を行いました。

引き続き本殿前の斎場で旧年中の御神礼・御守・破魔矢・熊手など神社に縁ある品々を焚き上げる火焼神事(ほやしんじ)が行われ、総代により火が着けられました。



— 火焼神事 —

豆撒き行事には、巳(み)歳生れの年男・年女が三回に分かれて境内の特設舞台から豆撒きを行いました。今年もV・ファーレン長崎より選手四名が豆撒きに参加、大きな声援を受けていました。V・ファーレン長崎は、今期よりJ2に昇格、監督も高木琢也氏に交替しました。更なる昇格へ頑張ってもらいたいものです。

境内には多良見町商工会の青年部、女性部などの出店が並び阿蘇神社の節分祭は賑わいました。



— 殿内での神事・豆打ちの儀 —



— 特設舞台からの豆撒き —

三回目の豆撒き終了後、法被姿の神社総代が舞台上がり、餅撒きを行いました。まず総代会長が謝辞を述べ、その後総代全員で一年間の招福を願って餅を撒きました。餅は紅白の小餅を袋に入れたもので、一年間の福を込め、三六五袋が撒かれました。

節分祭の諸行事を行うに当たり、準備から後片づけまで総代会・商工会関係者にはご苦勞をお掛けしました。また福豆の景品を提供や、運営のための協賛金など多くの商店・商社のご協力をいただきました。ありがとうございます。

御高配を賜った皆様方のご芳名を記し、御礼といたします。



— 御神礼御守の焚き上げ —

### ◆節分祭への奉納◆

《順不同・敬称略》

◇福豆 白岩豆店

◇初穂料 八江利春

◇奉献酒 親和銀行多良見支店長

山下 博、白岩町・千葉剛次

◇ペットボトルお茶 二ケース

㈱まつもと

### ◇豆撒行事景品提供

㈲三伸電気、九州ガス㈱、㈱丸信

おしゃれの店花椿、まつもとくん

もろおか薬品、森田薬局、十善商店、ゆめ工房、ポーラ化粧品、おむすびころりん、山中板金、㈲モ

ールアム、㈱森住宅、㈱森開発、

十八銀行、㈱マツヤ、たちばな信

用金庫、㈱小島工作所、阿蘇神社、

親和銀行、V・ファーレン長崎、



— 総代による餅まき —

多良見郵便局、(有)あづま屋、グリ  
ーングラス、マツシヨウ、喜々津  
美容室、事務機のミヤジマ、揚子  
江、喜々津新聞販売センター、(有)  
南部建設工業、商工会女性部、長  
崎産機サービス、(有)後田塗料商事  
(有)菅原産業、丸創建材店、おそ  
じ本舗、蓮創アルミ、レッカーセ  
ンター三根、(有)長崎スクラップセ  
ンター、(有)清紀運輸、いちごや、  
(有)溝上建築、センターロード工業  
長崎、(有)ナカムラ、はんセンター  
尚美堂、大草自動車整備工場、(有)  
みづほ、スパーあづま屋、(有)ジ  
ーセブン、(有)タナカ自動車、(有)喜  
々津青果、もり玩具店、チャイナ

ハウスあすか、レストラン松新  
以 上

◇節分祭特別協賛商社芳名  
関山祥一(長崎市)、黒木建設(有)、  
(有)石橋工業、喜々津カントリー倶  
楽部、(有)カステラ本家福砂屋多良  
見工場、(有)喜々津青果、(有)森開発  
(有)森住宅、スナックアロン、(有)多  
良見碎石、(有)南部建設工業、ヤマ  
エ久野(有)長崎支店、(有)唐草、中  
村医院、大石ボディ、(有)徳永自動  
車、西部ガスエネルギー(有)長崎支  
店、(有)アサヒ、(有)後田塗料商事、  
松尾装業、アルファ印刷、アポロ  
カーズ、慈恵病院、(有)森商会、(有)  
やまぐち住建、(有)溝上建築、共栄  
機械工事(有)九州支店、総合アルミ、  
(有)ニチボー長崎支店、(有)吉川金属  
商事、竹迫整形外科、松屋眼科医  
院、たか動物病院、(有)喜々津新聞  
販売センター、(有)多良見住宅、(有)  
小島工作所、(有)あづま屋、(有)もろ  
おか薬品、山崎活魚店、やの皮ふ  
科、犬尾胃腸科外科医院、山口歯  
科医院、喜々津美容室、(有)雄苑  
ますだ小児科内科医院、大久保ク  
リニック、徳永建設(有)、濱田心緑  
園、マエダ住宅(有)、(有)カーセンタ  
ー・エー・ピー、つくし書道教室  
西原電気商会、(有)吉野企画建設  
以 上

平成二十四年

# 皇紀二六七三年

# 紀元祭を齋行!

二月十一日は神武天皇が奈良県  
橿原の宮に即位された記念に日  
あり、今年には皇紀二六七三年に当  
たります。

午前十時に祭典が開始され、先  
ず宮司が祝詞を奏上。先人の建国  
の苦勞を偲ぶとともに皇室の弥栄  
と氏子崇敬者を始め、すべての国  
民の幸を祈念しました。引き続き  
喜々津三曲会(吉見哲山会長)五名  
により尺八の奉納演奏が行われま  
した。先ず「越天楽」続いて「八  
千代」と二曲を神前に奉奏、尺八

の心地よい音色に心も癒されたよ  
うです。

次に尺八の伴奏で「紀元節の歌」  
を参列者全員で斉唱しました。

最後に総代会長、岩本評議員に  
続き参列者が玉串を捧げ拝礼を行  
い、祭典を終了しました。祭典終  
了後は社務所に移動して直会を催  
し、健康記念日を祝いました。

紀元祭に際し以下の通り初穂料  
・奉献酒を賜りました。ご芳名を  
記しお礼を申し上げます。

《敬称略・順不同》

- ◇初穂料◇ 高内龍士・(有)森商会  
森 誠司・多良見漁協 木下和幸  
・喜々津三曲会・山口初實・嶋田  
彌八郎・松本 淳・松尾勝喜・前  
田信太郎・北島守幸・草野 榮・  
松尾義光・岩本 勲・山田豊明・  
蔭山 勇・中村眞夫・持永隆行・  
上之 睦・松永秀明・白石幸男・  
向井徳磨・宮嶋 博・松尾清人・  
吉野 徹
- ◇献 酒◇ 十八銀行多良見町支  
店支店長 伊藤雅博、たちばな信  
用金庫多良見支店長 水口潤二

以 上



— 紀元節の歌を斉唱 —

平成二十五年「歌会始」御題「立」

御製

まんごもろう  
万座毛に昔をしのび巡り行けば

あがたおんな  
彼方恩納岳さやに立ちたり

皇后陛下御歌

あめつち  
天地にきざし来たれるものありて

君が春野に立たす日近し

新春恒例の「歌会始」の御儀が

一月十六日午前皇居・正殿「松の間」でおこなわれました。今年是国内外から一七、八〇〇首の詠進歌が寄せられたそうです。

皇室と国民を繋ぐ「歌会始」に参加してみませんか。

来年の歌会始詠進要項（抜粋）

一、お題 「静」

お題は「静」ですが、「静」の文字が詠みこまれていれば「静謐」や「動静」のような熟語にしても、「静か」「静まる」のような訓詁にしても差し支えありません。

二、詠進要項

①お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首、未発表のもの。

②半紙（習字用半紙）を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵

便番号、住所、電話番号、氏名（ふりがな）、生年月日及び職業（具体的に）を縦書きで明記。

三、注意事項

①お題を詠み込んでいない、短歌の定型でない、用紙が縦長の場合。

②一人で二首以上詠進した場合、毛筆でない場合。

③すでにに発表された短歌と同じ、または著しく類似する場合。

④詠進歌を歌会始の行われる以前に、新聞、雑誌その他の出版物・年賀状等で発表した場合。

四、郵便のあて先

〒一〇〇—八一—一 宮内庁

宛とし、封筒に「詠進歌」と書き、詠進歌は小さく折って封入する。

九月三十日の消印まで有効。

「親父の小言」

・火は粗末にするな。朝きげんよくしろ。神仏をよく拜ませ

・不浄を見るな。人には腹をたてるな。身の出世を願へ

・人に馬鹿にされていよ。年寄り

をいたわれ。恩は遠くから隠せ

・万事油断するな。女房のいうこと半分。子のいうこと八九はきく

・家業は精を出せ。何事もかまわずしろ。たと儲けてつかへ

・借りては使うな。人には貸してやれ。女郎を買うな。女房を早く

持て。難波な人にほどこせ。生き物を殺すな。年忌法事をしろ。義理は必ず欠くな。ばくちは決して

打つな。大酒は呑むな。大めしを喰うな。判事はきつく断れ。世話

焼きになるな。貧乏を苦にするな。火事の覚悟をしておけ。風吹きに遠出するな。水はたやさぬようにしろ。塩もたやすな。戸締りに

気をつける。怪我と災は恥と思へ

・物を拾わば身につけるな。小商

もの値切るな。何事も身分相応

にしる。産前産後を大切に。小便

は小便所へしろ。泣きごとは必ず

云うな。病気は仰山にしる。人の

苦勞を助けてやれ。不吉は云うべ

からず。家内は笑ふて暮らせ

◆奉納御礼◆

新年を迎えるに当たり以下の通り奉納を賜りました。篤く御礼を申し上げます。また毎月境内の掃除をしていただく老人会誠会の皆様に感謝をいたします。

一、境内用玉砂利

（有）多良見砕石 石場一広殿

一、蜜柑枝 松尾龍義殿

一、初穂料 中村晉殿

前山弘殿

石丸義雄殿  
徳永建設㈱ 徳永孝次殿  
松尾興一郎殿  
江崎讓一殿  
太田商店殿

祝祭日には国旗を掲げてお祝い

いたしまししょう。

◎北方領土・尖閣諸島・竹島は日本固有の領土です。